

ロシア 東欧 経済速報

(社)ロシア東欧貿易会

2004年(平成16年)7月25日号 No.1301

目次

| | |
|-----------------------------------|--------|
| ●ロシアにおけるM & A法制の現状と課題 | 音羽 周 1 |
| ●キーパーソン | 3 |
| 大荒れのウラジオ市長選を制したのはニコラエフ氏 / 3 | |
| ●統計速報 | 3 |
| 国連開発計画発表の2004年版「人間開発指数」 / 3 | |
| ●エトセトラ | 5 |
| 「CEEDS 経済統計データベース」リニューアルのお知らせ / 5 | |
| ●ロシア東欧貿易会関連の行事予定 | 5 |
| ●CIS・中東欧諸国通貨の為替レート | 5 |

ロシアにおけるM & A法制の現状と課題

はじめに

2003年のロシアにおけるM&A(合併・買収)に係わる取引総額は129億ドルに達したと言われている。これまで、ロシアでは問題の多い民営化に乗じての偽装倒産および株の希釈化を通じての資産買収が目立っていたが、ここにきて、海外の法律・会計事務所を巻き込んで合法的にM&Aを行おうとする投資家も現れてきた。今後、外国の投資家もロシア企業を対象にしたM&Aに本格的に参入することが予想される。

そこで、本号では、ロシアにおけるM&Aに関する法律の整備状況を概観し、その内容を検討したい。

1. 概要

ロシアにおけるM&Aを規制する法律としては、独占禁止法、証券市場法および株式会社法がある。その主な内容を紹介する。

独占禁止法 最新のものは、2002年10月9日付の連邦法「商品市場における競争および独占行為の制限について」である。同法において、以下の取引に際しては、独占禁止機関(現